

栄養クリニックのあゆみ

[はじめに]

平成20年7月、本学の教育研究機関として始動した栄養クリニックも、間もなく8年目を迎えようとしている。平成24年度より、新たに建設された研究所棟へ活動の拠点を移したことで、活動の幅が増え、当クリニックの利用者は増加した。これからの活動をより充実したものとするために、過去4年間の活動実態を企画別に数値で振り返ってみることとした。(平成20～23年度については、活動報告書第4号2011年度発行p. 57参照)

[地域連携事業・公開講座等]

食と健康に関する情報提供、普及啓発を目的とし、学内外で公開講座や講演会を実施している。

過去4年間の活動実施回数、および参加者の推移を図1. 2に示した。

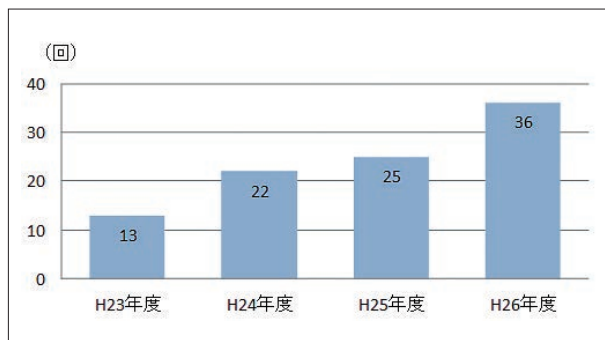


図1 実施回数

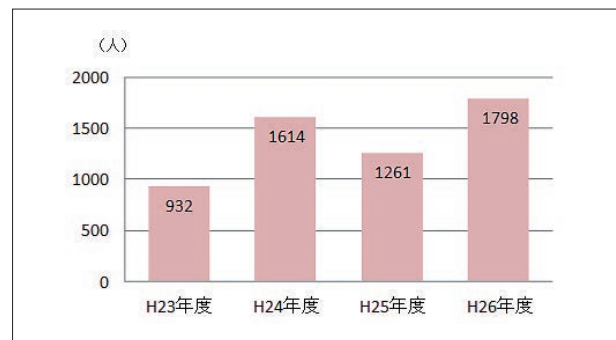


図2 参加者数

地域住民を対象とした公開講座では、「おいしさと健康」、「骨粗鬆症予防」、「生活習慣病と小生活」などのテーマで、講演を行っている。地域住民の食へ関心は高く、公開講座を実施した平成24. 26年度は参加人数が多くなっている。当栄養クリニックも、開設当初と比べると、認知度が高くなり、現在では多くの企業・行政と協力し、活動の場所が増えている。

今後も大学での研究成果を社会へ還元する方法として、活動の範囲を広げながら健康情報の発信に努めてゆきたい。

[栄養クリニック健康・栄養指導等（料金を徴収する講座）]

料理教室は、食事の楽しさ、健康増進・疾病予防、食文化の伝承等、毎回さまざまなテーマで実施しており、料理を通して市民の方々に栄養と健康、食生活のあり方を学んでいただく重要なプログラムである。テーブルコーディネート講座では、季節感のある食卓や文化的豊かさのある食空間など、豊かな心を育む食卓演出法を紹介している。

過去4年間の料理教室の実施回数、および参加者数の推移を図3. 4に示した。

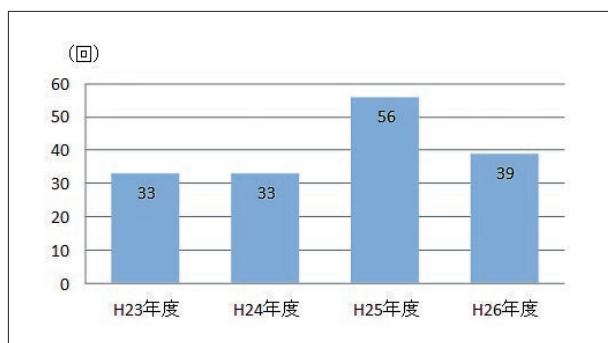


図3 料理教室等 実施回数

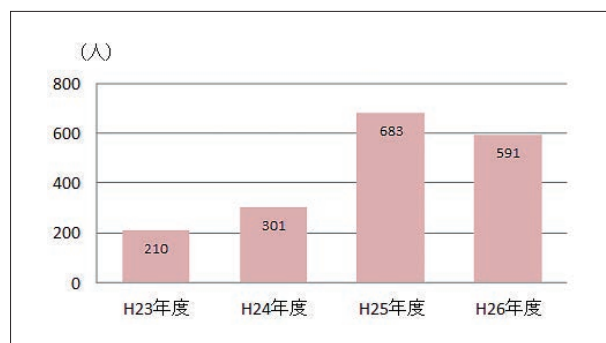


図4 料理教室等 参加者数

平成24年度に施設を移転し、調理室のスペースが拡大したことから、料理教室の受け入れ人数が大幅にアップした。当初は定員6名を満たせない日もあったが、口コミなどにより、徐々に認知度が高まり、現在では常にキャンセル待ちがある、大変人気のある講座である。参加者のほとんどがリピーターである一方で、毎回1～2名の新規のご利用もあることも大変嬉しい。当クリニックの料理教室を知ったきっかけで多いのは、友人の紹介や、学内外の講演参加での案内である。今後もより多くの人に、「食から健康」のきっかけとなる場を提供したいと思う。

[学園内連携・在学生、卒業生向け講座]

在学生および卒業生に向けての生涯学習は、当クリニックの設立の目的でもある。

過去4年間の実施回数、および参加者数の推移を図5、6に示した。

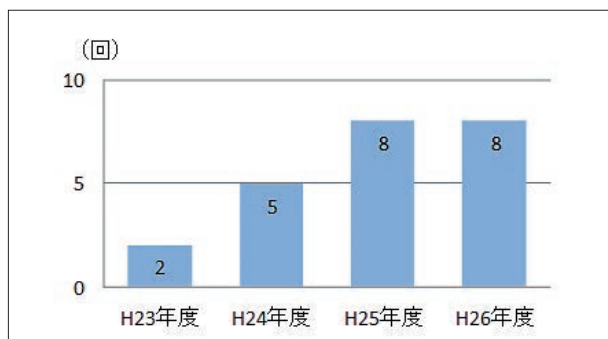


図5 実施回数

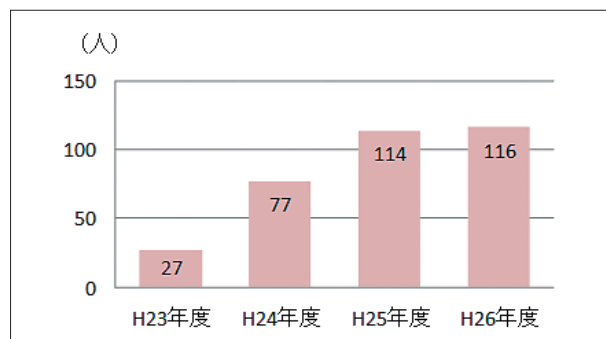


図6 参加者数

実施回数および、参加者数は上昇しているが、講座1回あたりの参加者は15名程度と少ないのが課題である。仕事をもつ卒業生に、当クリニックまで足を運んでいただくことが難しく、当クリニックへの登録者が少ないので、今後はHPやメールを使った情報配信を充実させていきたい。

【その他の活動】

当クリニックの認知度が上がるにつれて、学外での講演依頼や取材が増えている。一方で、個人栄養相談の依頼が減少傾向にある。今後は、個人栄養相談の依頼数アップと同時に、研究活動にも力を入れて行きたい。

(松浦稚紗)